

患者のみなさまへ

使わない金歯、入れ歯などを寄付しませんか。

TOOTH FAIRY
参加歯科医院に持参する
このピンク色のステッカーが参加歯科医院の目印です。

使っていない指輪など
貴金属の寄付もお願いします。

日本財団にお送りください
〒107-8404
東京都港区赤坂 1-2-2
日本財団「歯の妖精 TOOTH FAIRY」係

歯科医師のみなさまへ

簡単に始められて、費用も必要なし。
お気軽にお申し込みください。

1 参加のお申込み
ハガキ、FAX、Webサイト、お電話からお申し込みいただけます。
Web がオススメ 検索

2 金属回収容器のお受け取り
TOOTH FAIRY 事務局より、金属回収容器と参加ポスター、ステッカー等を送付します。
貴医院のミニHPも作成します！

3 歯科撤去金属を寄付
金属が集まったら、日本財団へお送りください。受取後、「歯科撤去金属到着確認書」を発行します。

4 活動報告などの情報の公開
金属の受取報告、活動報告、会計報告など、透明性をもって情報公開します。

歯医者さんと患者さんですすめる社会貢献活動

TOOTH FAIRY

トゥース・フェアリー



活動報告書 2016

参加お申込みハガキ

キリトリ線

郵便はがき

料金受取人払郵便

赤坂局 承認 4758

107-8790 111

東京都港区赤坂 1-2-2
日本財団
歯の妖精 TOOTH FAIRY 係 行

差出有効期間 平成31年4月30日まで
(切手不要)

キリトリ線

フリガナ

医院名

フリガナ

お名前

〒

医院住所

電話番号

FAX

E-mail

「歯の妖精 TOOTH FAIRY」は、公益社団法人日本歯科医師会の協力を受け、日本財団が実施しています。
参加のお申し込み・お問い合わせは、日本財団「歯の妖精 TOOTH FAIRY」へお気軽にどうぞ。



日本財団 歯の妖精 TOOTH FAIRY
〒107-8404 東京都港区赤坂 1-2-2
TEL.0120-24-2471 (平日9:00~17:00)
Mail: cc@ps.nippon-foundation.or.jp



最新情報公開中！
「いいね！」を押して応援してください！



- 特集
- 1. 夢のキャンプで感じた子どもの成長
 - 2. 熊本地震と難病児支援
 - 3. 「変化の時は来た」ミャンマーの人々を変える学校建設

日本財団活動理念

痛みも、希望も、未来も、共に。
Share the pain. Share the hope. Share the future.

一つの地球に生きる、一つの家族として。

人の痛みや苦しみを誰もが共にし、

「みんなが、みんなを支える社会」を日本財団はめざします。

市民。企業。NPO。政府。国際機関。

世界中のあらゆるネットワークに働きかけます。

知識・経験・人材をつなぎ、

ひとりひとりが自分にできることで社会を変える、

ソーシャルイノベーションの輪をひろげていきます。



TOOTH FAIRYとは?

医療技術の進歩によって、かつてなら諦めなければならなかった多くの命が、救えるようになりました。しかし、それは必ずしも健康体で生きることを意味するわけではありません。一命をとりとめたものの、重い障がいが残ったり、人工呼吸器などの医療的ケアを必要とする子ども。ある日突然、事故や病気のため、闘病生活を余儀なくされる子ども。そして、子どもたちを支える家族も、日々の看護や周囲の無理解から、疲弊する例が少なくありません。また、遠くミャンマーのへき地では、貧困のために働かなければならず、学校に通えない子どもたちがたくさんいます。児童労働は終わりのない貧困の連鎖を招き、子どもたちの未来に影を落とします。日本でも、ミャンマーでも、周囲から見えないところで孤立し、不安を抱えながら生きている子どもたちと家族の孤立を防ぎたい。TOOTH FAIRY は全国の歯科医師と患者さんの協力により、治療上撤去した不要な金属を集め寄付に変え、子どもたちを応援するプロジェクトです。小さな金属のかけらが、難病や貧困と闘う子どもたちに、大きな夢と笑顔をお届けしています。

治療によって撤去された

役目を終えた金属がうまれかわり

子どもたちへ夢と笑顔をプレゼント

国内の難病の子どもたちの支援

ミャンマーの学校建設

歯科界の果たすべき役割のひとつとして多くの支援を



公益社団法人 日本歯科医師会
会長 堀 憲郎

平成 21 年 6 月にスタートした社会貢献活動「TOOTH FAIRY プロジェクト」は早くも 9 年目を迎えました。参加歯科医療機関数も約 6,300 を数え、これまでに 10,805 件、総重量 4,086 kg 超の歯科撤去金属等が寄付され、寄付金総額は 12 億 7,800 万円に達するなど、大規模な寄付プロジェクトに発展しております。

日本歯科医師会が協力し、日本財団が主体となって実施している本プロジェクトは、治療で不要になった歯科撤去金属を患者さんのご理解の下に参加歯科医療機関が寄付し、そして寄付された金属を換金して得た資金等で進めている活動です。難病や障がいを抱える子ども達とその家族を支援し、安らぎや休息などを提供する事業や、ミャンマー国での学校建設事業等の支援活動を展開しております。

本プロジェクトは、私たち歯科医師にとっては、歯科撤去金属の有効活用を促すツールとして、患者さんとの信頼関係を築ききっかけにもなるものです。また、難病の子どもたちのキャンプやミャンマー僻地での歯科ボランティアなど、歯科医師が支援事業の現場に行くことができることも、プロジェクトの継続に一役買っていると考えております。

換金の際には日本歯科医師会が立ち会い、活動内容や収支決算も必ず公表されるなど、透明性があり、そして成果が見える本プロジェクト。より多くの歯科医療機関が参画して成果を実感し、患者さんたちに伝えていただくことで、今後とも本活動が、歯科界の果たすべき役割のひとつとしてさらに発展を続け、少しでも多くの支援等につながることを心から祈念しております。

2016 年度 TOOTH FAIRY の活動

4月

▲奈良親子レスパイトハウス 完成(奈良県)

▲あおぞら共和国 TOOTH FAIRY ロッジ完成(山梨県)

7月~10月

●難病児キャンプスタート。全国で歯科医師による口腔ケアボランティア実施。

11月

▼島根県歯科医師会、和歌山県田辺西牟婁歯科医師会、東京都目黒区歯科医師会にて映画「Given」上映

▲第80回全国学校歯科保健研究大会にてブース出展

通年

●映画「Given」全国の劇場で上映。神奈川県推薦映画に。

▼入院する子どもたちや家族を支える支援

5月

●ミャンマー学校建設に新しく6校開校。合計30校建設完了

6月

▼栃木県歯科医師会にて映画「Given〜いま、ここ、にあるしあわせ〜」上映

▲チャイルド・ケモ・ハウスチャリティイベント「チャイケモウォーク」にてブース出展

●難病児と家族の夢の旅行「ウィッシュ・パケーション」開催

9月

●和歌山県歯科医師会総会にて活動報告

9月~10月

●身体的にパレエティあふれるひとたちの演劇公演 BUNNA 開催

12月

●金属寄付月間 開催

1月

▲パラアスリートへの歯科支援実施

通年

▲金属リサイクル実施(7月、11月、2月の計3回)

TOOTH FAIRY がつないだ 子どもたちの笑顔

治療で取り外し役目を終えた金歯や銀歯が、病気や貧困と闘う子どもたちを応援する TOOTH FAIRY プロジェクト。
2009年に活動を開始してから丸8年を迎えました。
小さな金属のカケラから始まるチャリティの輪がひろがっています。



全国の
TOOTH FAIRY
参加歯科医院 (累計)

6,372 医院

応援歯科医師会・大学同窓会

9 団体

寄付金 (累計)

1,278,731,791 円



口腔ケア
ボランティア
参加歯科医師

60 名

協力歯科医師会

12 歯科医師会



笑顔になった
子どもたちと家族

国内

15,248 人

ミャンマー

2,734 人



難病児と家族の映画

「Given ～いま、ここ、にあるしあわせ～」

上映数

261 ヶ所

(劇場 8 館 137 回、自主上映 104 回
(内、歯科医師会での上映 4 回)、
学校・青少年団体上映 20 回)



支援プログラム
実施地域

47 都道府県

(施設整備建設を 7 ヶ所含む)

難病児
支援パートナー

13 団体



ミャンマー
学校建設数 (累計)

30 校



※数字は注記をのぞき 2016 年度のもの

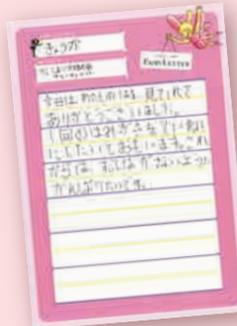
お手紙紹介
コーナー

「歯医者さん、ありがとう!」子どもたちから届いたメッセージ



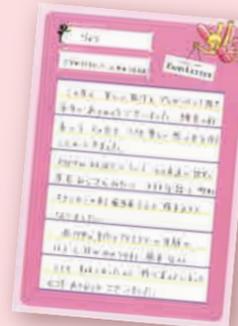
難病児と家族のキャンプに参加した
あんこさんより

「お兄ちゃんと弟と一緒に出かけられる
ことが少ないので、楽しかったです!」



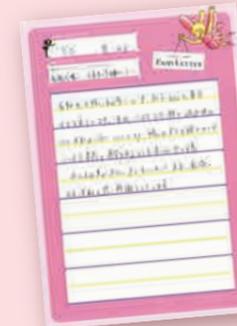
小児 (1 型)
糖尿病キャンプに参加した
きょうかさんより

「わたしの歯を見てくれてありがとうございました。
これからはむし歯がない
ようにがんばりたいです」



難病児と家族のキャンプに参加した
りゅうさんより

「すてきな旅行をありがとうございました。
ママ友にも、すてきな話だねと好
評です。街中で TOOTH FAIRY の歯医
者さんを探すようになりました。」



入院するお子さんのお母さん
YO さんより

「長期の入院ですが、多くのアーティ
ストの歌や読み聞かせに勇気付けられて
います。外にでることが少ない子ども
にとって、大変、刺激になる活動と思い、
感謝しています。」



夢のキャンプで感じた 子どもたちの成長

国内に20万人いるといわれる、病気や障がいのために、医療ケアを必要とする子どもたち。「病気だから」「障がいがあるから」「治療が怖いから」大人でもくじけそうになる困難に直面しながら、小さな身体で立ち向かう子どもたちの姿は、私たちにたくさんのことを教えてくれます。闘病しながらも日々成長する息子さんの姿を綴った、とあるお父さんのお手紙をご紹介します。

家族で小児（1型）糖尿病（※1）サマーキャンプに参加しました。今年のキャンプでは自己注射を目標にたてた息子。これまでは注射針に怖がり痛がる姿を見てきたので、厳しいのではと思っていました。

初日のおやつ（※2）の時でした。同じ歳のお友達が、息子の目の前で自己注射をしている姿に背中を押されたのか、「自分もできる」と言い、震える手で自己注射をすることができました。

発病し、私の手で初めて息子のお腹に注射した時、自分の手が少し震えていたことを思い出しました。物凄く勇気を出して頑張ったんだと思います。勢いもあったのですが、自ら進んで注射すると予想していなかったので驚き、成長を感じました。息子にとっては大きな壁でしたが、キャンプの魔法といえいいのでしょうか、初日に目標を達成することができました。

「楽しかったら頑張れるねん」

自己注射した時の気持ちを聞いてみると、シンプルな言葉でしたが、心に染みて目が潤みました。“頑張る”の本当の意味かもしれません。不安や苦しみに耐え忍ぶだけが“頑張る”のではない、家族や誰かのために、今日や明日の楽

しみにのために頑張るんですね。来年小学校に入学する小さいな息子の言葉に、自分が忘れていた感覚を思い出しました。

キャンプは、イベントに勉強会、家族の交流会と内容が濃かったです。参加医師や他の家族から、普段聞けない話やこれからの課題まで、誰とでもいつでも顔を合わせて話ができる環境は、病気と向き合う親子にとって貴重な体験でした。息子の病気に冷静に向き合うためにも大切なつながりができました。

これからも家族にとってたくさんの大きな壁があると思います。それでも、キャンプの魔法で楽しく乗り越えることができましたと思います。

※1：小児（1型）糖尿病…主に小児期に発症する糖尿病。血糖値を下げるインスリンが分泌されなくなるため、1日2~4回の血糖測定とインスリン注射を必要とする。
※2：おやつ（補食）…患児は、血糖値をコントロールするため、食間に糖質を摂取します。



TOOTH FAIRYの活動1 難病の子どもと家族のための 施設等を整備する取り組み

長期間の入院生活、限られた面会時間、いのちをつなぐための人工呼吸器やたん吸入機のメンテナンス。重い病気や障がいのある子どもたちは、入院や在宅での医療ケアのために、様々な制約の中で過ごしています。TOOTH FAIRYは医療ケアを必要とするお子さんと家族の生活をサポートする拠点を全国7ヶ所に展開。日中預かりや家族旅行の受け入れ施設の建設や、緊急時の停電対応装置の整備などを行っています。



北海道の広々とした高原にある、医療施設を完備したキャンプ場
そらぶちキッズキャンプ（北海道）
【団体名：（公財）そらぶちキッズキャンプ／支援年度：2014年度、2016年度】



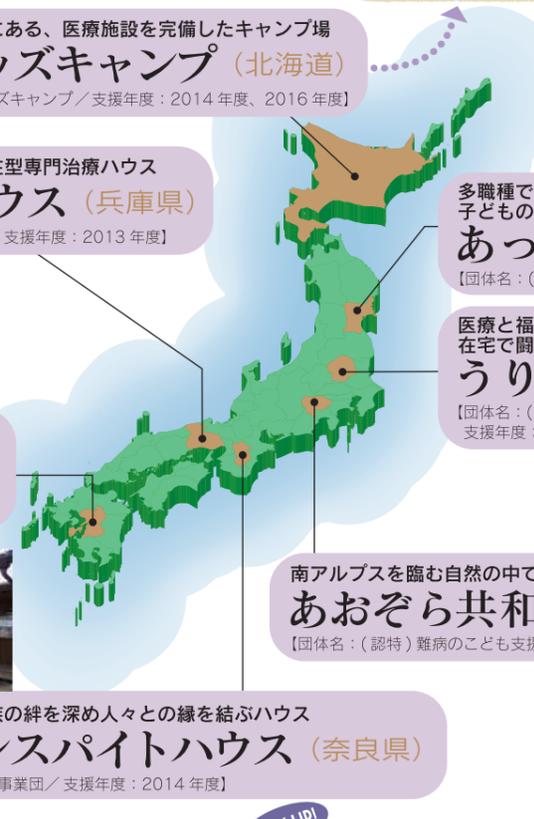
小児がんになっても笑顔で育つための、滞在型専門治療ハウス
チャイルド・ケモ・ハウス（兵庫県）
【団体名：（公財）チャイルド・ケモ・サポート基金／支援年度：2013年度】



看護師や保育士により療育を行い、通所する子どもたちが楽しい時間を過ごす場所
ボンボン（熊本県）
【団体名：（認特）NEXT EP／支援年度：2014年度、2016年度】



奈良東大寺境内の、家族の絆を深め人々との縁を結ぶハウス
奈良親子レスパイトハウス（奈良県）
【団体名：（社福）東大寺福祉事業団／支援年度：2014年度】



PICK UP!
遊びにおいてよ 妖精の家が誕生

お披露目式には地元の空知歯科医師会から・中村光宏先生（なかもらファミリー歯科）も出席し、祝辞をいただきました。

北海道の大自然を満喫できる、難病児専門キャンプ場「そらぶちキッズキャンプ」に、この冬、TOOTH FAIRYの家が完成。入口には妖精の姿をあしらったスタンドグラスを飾っています。そらぶちの森に遊びにいったお友達は、歯の妖精に会えるかもしれませんね。

PICK UP!
難病児と家族の避難所に

子どもたちのお気に入りのプレイルームも、臨時の避難所に。

TOOTH FAIRY 参加歯科医院からもご支援いただきました。

2016年4月に発生した熊本地震。停電や断水被害は、人工呼吸器や酸素吸入器など常に電源を必要とする、難病や障がいのある子どもたちにとって、生命の危険となりました。熊本県合志市に建設したボンボンは、近隣の難病児と家族の避難場所としても機能しました。

PICK UP!
栃木県の子どもたちが北の大地で自然体験!

わくわくしながら出発!

始めて飛行機に乗ったよ!

うりずんに通う子どもたちが、北海道のそらぶちキッズキャンプへ遊びにきました! 医療ケアが必要というだけで、子どもたちや家族は、我慢を強いられることが多いなか、飛行機に乗り、ホースセラピーを体験。北の大地での思い出は子どもの宝物となり、家族にとっても、キャンプができたことが大きな勇気となりました。

入院生活や特別な旅行で難病の子どもと家族を支える取り組み

病気と向き合う子ども、限られた時間を過ごす子ども、そして、その子どもの家族、きょうだいには、医療や福祉、教育の支援と一緒に、夢をみるちからが必要です。 病院で、自宅で、特別な場所で。子どもと家族が笑顔になる活動をおこなっています。



1 病院、施設、自宅での子どもの成長を支える取り組み

つらい治療や闘病のストレスに加え、家族やお友だちと離れた寂しさから、驚きや喜びなどの感情表現や自己表現をすることが少なくなる、入院する子どもたち。TOOTH FAIRYは子どもたちと家族の心のケアをおこなう専門家の活動を支援しています。

No.	活動内容	成果	団体名
1	クラウン(クリニック、クラウンボランティア)による子どもの成長サポート	研修、認定を受けたクリニック(病院を訪問する道化師)が小児病棟を訪問し、入院児と過ごす活動を実施。 ■開催場所: 全国111病院(京都府立医科大学病院等) ■実施時期/回数: 通年/16回 ■対象者: 入院児約502名(対象者数は、入院児数平均31名×訪問回数にて算出)	(認特)日本クリニック協会
2	ファッションドッグによる入院中の子どもの心のケア	小児病棟に医学部学生の扮するクラウンが訪問し、入院児と過ごす活動を実施。 ■開催場所: 大分県立病院小児科病棟、大分大学医学部附属病院小児病棟、等 ■実施時期/回数: 通年(毎月1回)/12回 ■対象者: 入院児約480名(対象者数は、入院児数平均40名×訪問回数にて算出)	(特)クラウンボランティア・ティアドロップ
3	芸術・スポーツプログラムを病院、施設等に届ける活動	病院、施設、在宅で闘病する患児に音楽、マジック等の芸術プログラムを届ける活動を実施。 ■開催場所: 日本赤十字社医療センター小児病棟、神奈川県立こども医療センター内肢体不自由児施設・重症心身障害児施設、関東圏内の退院後在宅医療を受ける子どもたちの自宅など ■実施時期/回数: 通年/338回 ■対象者: 入院児、肢体不自由児施設・重症心身障害児施設に通う子ども、退院後在宅医療を受ける子ども 6344名	(認特)シャイン・オン・キッズ
4	ホスピタル・プレイ・スペシャリストによる遊びのワークショップ	入院児や在宅で闘病する子どもたちと家族を対象とした、遊びを紹介するワークショップを開催。 ■開催場所: 札幌市教育文化会館、社会福祉法人小羊学園つばさ静岡、あいち小児保健医療総合センター ■実施時期/回数: 2016年8月、10月、11月/3回 ■対象者: 入院児または病院(在宅療養)生活を送っている難病の子どもと家族 58家族(121名)	(特)ホスピタルプレイ協会



2 旅行やキャンプ等を通じた子どもと家族を支える取り組み

自宅で人工呼吸器など医療ケアをおこなっている子どもたちは、気軽に外出することが難しく、病院と家の往復の生活になりがちです。TOOTH FAIRYで支援する特別な旅行は、日々の闘病生活のリフレッシュや、地域住人や同じ悩みをもつ仲間との交流をつくっています。

No.	活動内容	成果	団体名
1	難病の子どもと家族のファミリーレスパイトと交流旅行	重症心身障害児や難病児とその家族が参加する、琵琶湖周辺での観光、宿泊旅行を実施。 ■開催場所: 滋賀県 ■実施時期/回数: 2016年11月、12月/2回 ■対象者: 重症心身障害児等とその家族 111名 31家族	(特)びわこファミリーレスパイト
2	闘病生活のストレスを和らげるレスパイトキャンプ	難病児と家族をテーマパークや観光地へ招待する家族旅行を実施し、外出困難な子どもと家族を対象に、シェフやエンターテイナーが自宅を訪問するホームパーティプログラムを実施。 ■開催場所: 東京、仙台、千葉、大阪、和歌山、広島、沖縄等の観光地および病児と闘う子どもがいる家庭(自宅) ■実施時期/回数: 通年/26回 ■対象者: 難病の子どもと家族 38家族	(公社)難病の子どもとその家族へ夢を
3	1型糖尿病の子どもの自己管理能力を高める学習キャンプ	難病の子どもと家族、ボランティアが参加、交流する2泊3日のサマーキャンプを実施する。 ■開催場所: 岩手県、愛知県、兵庫県 ■実施時期/回数: 2016年8月/3回 ■対象者: 病児や障害のある子どもと両親、兄弟姉妹など 537名 79家族	(認特)難病のこども支援全国ネットワーク
4	ウィリアムズ症候群の子どもと家族のためのミュージックキャンプ	馬セラピーと森遊びを基本としながら、闘病中の子ども(キャンパー)の状態やニーズに配慮した3泊4日の自然体験プログラムを実施する。■開催場所: 北海道滝川市 ■実施時期: 9月22~25日 ■実施回数: 1回 ■対象者: 入院生活または通院(在宅療養)生活を送っている難病の子どもと家族のうち、闘病生活が長く、または重い病気の子どもと家族 2家族(9名)	(公財)そらぶちキッズキャンプ
		小児(1型)糖尿病児を対象とした、宿泊型の学習キャンプを実施。 ■開催場所: 全国47都道府県 ■実施時期/回数: 2016年7月~2017年3月/50ヶ所 ■対象者: 小児期発症の1型糖尿病の幼児から高校生までの患児1,183名	(公社)日本糖尿病協会
		ウィリアムズ症候群の子どもと兄弟姉妹を対象とした、音楽療法等を取り入れた宿泊型キャンプを実施。 ■開催場所: 東京都 ■実施時期/回数: 2016年4月/1回 ■対象者: ウィリアムズ症候群の子どもと兄弟姉妹、家族 34家族	(特)Smirhythm



3 難病の子どもと家族の支援の輪を広げる取り組み

難病の子どもと家族の実情を知らないことによるいじめ、差別、偏見を無くすと同時に、支援の輪を広げることを目的に、難病の子どもと家族が直面している社会課題、社会からの孤立の実態を伝える啓発活動を実施しています。

No.	活動内容	成果	団体名
1	映画「Given ~いま、ここ、にあるしあわせ~」の全国上映、および「難病と闘う家族」の写真展	映画「Given ~いま、ここ、にあるしあわせ~」の全国上映、および「難病と闘う家族」の写真展の開催。 (1) 映画上映 ■開催場所: 全国20カ所の学校及び青少年団体 ■実施時期/回数: 2016年6月~2017年3月/24回 ■来場者: 学生、教職員等 4,176名 (2) 写真展 ■開催場所: 全国8カ所 ■実施時期: 2016年4月~2017年3月 ■来場者: 旅行参加家族、支援企業、教育関係者、行政関係者、一般市民等 1,316名	(公社)難病の子どもとその家族へ夢を
2	重い病気や身体に障がいのある人の演劇公演	病気、障害の有無に関わらず社会の一員として活躍する社会を、重い病気や身体に障がいのある人が表現する演劇公演を開催。 ■開催場所: 横浜、大阪 ■実施時期/回数: 2016年10月/5公演(横浜3公演、大阪2公演) ■来場者: 402名(うち50名が重い病気や身体に障がいのある子どもと家族)	(認特)ニコちゃんの家
3	難病のこども支援フォーラム開催	難病児と家族のキャンプ「がんばれ共和国」の活動を通して見えてきた、「家族同士の交流の場の必要性」「きょうだいの支援、家族レスパイトの重要性」などをテーマとするフォーラムを実施。 ■開催場所: 山梨県立図書館(山梨県甲府市) ■実施日: 2016年11月19日 ■来場者: がんばれ共和国キャンプ関係者 11名、一般参加者 70名	(認特)難病のこども支援全国ネットワーク

ボランティアや映画上映で TOOTH FAIRY を応援!!

病気が障がいのある子どもたちは、口腔ケアに悩みをかかえがち。TOOTH FAIRYの参加歯科医師によりボランティアで子どもたちや保護者への口腔ケアにご協力いただきました。また、歯科医師会で一般の方向けに実施するイベント等で、映画「Given ~いま、ここ、にあるしあわせ」を上映いただきました。



● 口腔ケアボランティア 協力歯科医師、歯科医師会 ●

〈小児(1型)糖尿病キャンプ 協力歯科医師、歯科衛生士〉

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ■山形県 毛呂孝一先生 毛呂歯科医院 | ■徳島県 岡本好史先生 徳島県歯科医師会 |
| ■静岡県 浅倉達也先生 浅倉歯科医院 | ■徳島県 大井啓司先生 // |
| ■東京都 澤田章司先生 澤田歯科医院 | ■大阪府 今井敦子先生 今井歯科診療所 |
| ■石川県 江尻重文先生 江尻歯科医院 | ■鹿児島県 奥淳一先生 奥歯科医院 |
| ■石川県 武田禎慶先生 たけだ歯科クリニック | ■鹿児島県 奥道子さん // |
| ■兵庫県 鈴木明彦先生 鈴木歯科クリニック | ■鹿児島県 園田昌代先生 鹿児島県歯科衛生士会 |
| ■兵庫県 坂口智計先生 とも歯科医院 | ■東京都 清水俊貴先生 医療法人社団緑水会 |
| ■兵庫県 前田龍一先生 前田歯科医院 | |
| ■新潟県 高野和弘先生 新潟県歯科医師会 | ■東京都 熊川貴昭先生 みさき歯科医院 |
| ■新潟県 石黒千代栄さん // | ■宮崎県 相馬博先生 相馬歯科医院 |
| ■大分県 南部貴志先生 医療法人社団 TDC | ■宮崎県 井手ひろみさん // |
| | ■滋賀県 中瀬一輝先生 中瀬歯科医院 |
| ■大分県 二宮由香里さん // | ■埼玉県 松見秀之先生 松見歯科医院 |
| ■大分県 安部美里さん // | ■埼玉県 松見政江先生 // |
| ■大分県 富安美由紀さん // | ■長野県 小穴実先生 堀金歯科医院 |
| ■福井県 近藤真先生 福井県歯科医師会 | ■長野県 澤武愛里先生 宮本歯科医院 |
| ■福井県 斉藤浩一先生 // | ■大阪府 若野正人先生 まさと歯科医院 |
| ■福井県 西川さん // | ■大阪府 若月勇一郎先生 若月歯科医院 |
| ■高知県 溝淵隆宏先生 高知大学医学部付属病院 | ■山梨県 内田喜仁先生 うちだ歯科クリニック |
| | ■山梨県 佐野猛先生 さの歯科医院 |
| ■高知県 中谷貴恵先生 // | ■秋田県 松野才先生 松野歯科医院 |
| ■高知県 長瀬優里さん // | ■山口県 福永恭紀先生 ぶくなが歯科医院 |

【協力歯科医師会】

- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 山形県歯科医師会 | 福井県歯科医師会 | 山梨県歯科医師会 | 鹿児島県歯科医師会 |
| 石川県歯科医師会 | 高知県歯科医師会 | 秋田県歯科医師会 | |
| 新潟県歯科医師会 | 徳島県歯科医師会 | 滋賀県歯科医師会 | |

〈難病児と家族のキャンプ「がんばれ共和国」〉

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ■熊本県 伊藤明彦先生 伊藤歯科医院 | ■岩手県 長野えり子先生 岩手県歯科医師会 |
| ■熊本県 伊藤道子先生 ひまわり歯科 | いわて女性歯科医師の会 |
| ■岩手県 赤坂栄里子先生 岩手県歯科医師会 | ■岩手県 小家雅子先生 // |
| | いわて女性歯科医師の会 |

【協力歯科医師会】

岩手県歯科医師会、いわて女性歯科医師の会

〈ウィリアムズ症候群の子どもと家族のミュージックキャンプ〉

- 東京都 吉川正芳先生 明海大学歯学部歯科矯正学分野

● 映画「Given ~いま、ここ、にあるしあわせ」 上映歯科医師会 ●

- | | |
|---------------|------------------|
| ■栃木県 栃木県歯科医師会 | ■和歌山県 田辺西牟婁歯科医師会 |
| ■島根県 島根県歯科医師会 | ■東京都 東京都目黒区歯科医師会 |



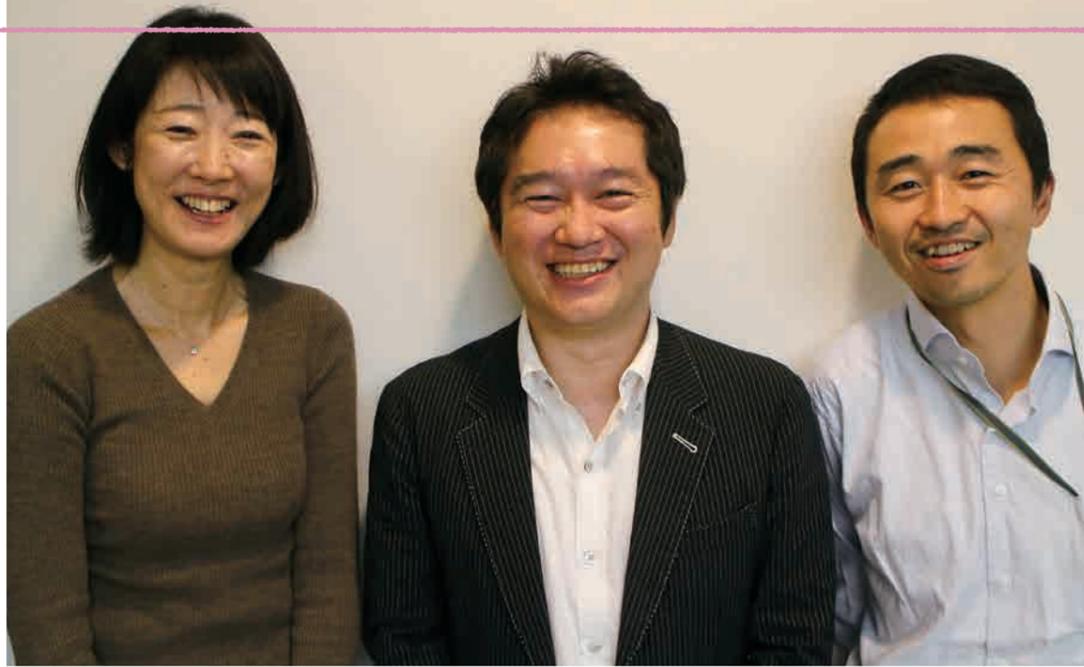
ありがとうございました!

プロフィール

(左) 堀田 裕子
 (公社)日本糖尿病協会事務局長。小児糖尿病サマーキャンプで、2013年度より TOOTH FAIRY 支援を受ける。

(中) 島津 智之
 認定 NPO 法人 NEXTEP 理事長。小児科医として不登校児支援や難病児支援をおこなう。2015年11月熊本県志布志市に TOOTH FAIRY 難病児支援施設「ボンボン」を開所。

(右) 高島 友和
 日本財団公益事業部国内事業開発チーム・チームリーダー。難病児支援プログラムコーディネートを担当。



熊本地震と難病児支援

2016年4月。熊本・大分を襲った巨大地震に、日本中が震撼しました。非常事態に難病の子どもたちと支える人々が直面した課題とは、次におこる災害のために、備えておくこととはなにか。現地の難病児支援施設「ボンボン」を運営する NEXTEP 理事長の島津氏と、全国の糖尿病患者をサポートする(公社)日本糖尿病協会の堀田氏、そして、日本財団難病児支援プログラム担当高島の鼎談形式でお届けします。



ボンボン外観。震度5強、震度6強の強い揺れが襲った

高島：地震が発生した時、ボンボンではどんなことが起こっていたのですか？

島津：熊本市内より北西にあるボンボン周辺では、2度の強い揺れに襲われました。幸い人的被害はなかったものの、停電と断水が続きました。

人工呼吸器や酸素ボンベなど、電源を必要とする医療機器を常時使用する子どもたちは、災害時には生命の危機に直面します。私の勤務先の病院にも19名の患児と家族約50名を受け入れました。ボンボンでも不安の強いお子さんや家族を数家族、受け入れました。

Twitter など SNS で支援物資を要請すると反響が大きく、震災後2日目の夜には、世界中から40トンの物資が届きはじまりました。3、4日目には近所のコンビニなども復旧しましたが、医療物資が足りませんでした。痰の吸入器や胃ろうの子に栄養を注入するボトルなど、普段水洗いしているものが、断水や汚水のため使い捨てになってしまいました。

高島：糖尿病のお子さんは、日ごろからインスリン注射などを常備しますが、震災時に不足した、などの声はありましたか？

堀田：東日本大震災と違い、津波被害がなかつたので、インスリン注射などを紛失した方はい

ませんでした。今回の地震では1度目の揺れで、薬類を持ち出して避難できた方が多かったようです。島津：薬剤師会の対応も早く、糖尿病に限らず薬類の流通は早かったです。熊本県は小児科医療のネットワークがあり、必要な物資は病院間でやりくりしました。

堀田：糖尿病の場合、熊本大学病院が中心となり、患者さんの情報を集約しました。東日本大震災以降、日本糖尿病協会と日本糖尿病学会では、災害発生時に速やかに協働できる体制を取っています。今回も、両者が災害対策本部を設置し、同大学病院、インスリン製剤会社や地域の医薬品卸会社と連携し、避難生活を送る患者さんのサポートをおこないました。

島津：東日本大震災の時もそうでしたが、災害時には地元企業が奮闘しました。例えば人工呼吸器は患者さんが企業からレンタルするのですが、企業は普段から患者さんを定期訪問し、患者さんと信頼関係を築いています。災害時には、企業の情報をもとに、医療者が一緒に行動して、支援が必要な患者さんをサポートすることができました。

高島：災害に備えて、難病児や家族は普段からどんなことに備える必要があるでしょうか？

堀田：日本糖尿病協会では、災害時に最低限持ち出すものを確認できるように、ステッカーを配布しています。その他に、一部の地域ですが、医師会や薬剤師会と連携し、防災意識啓発チラシを、患者さんへお配りしています。小児糖尿病サマーキャンプでも、避難訓練を実施するなど、自衛する方法を教えています。

島津：ボンボンへの滞在や病院に宿泊する方は、日用品や薬を詰めたお泊りセットを用意しています。すぐ避難できる体制は、整えられていっしやるかもしません。

また、疾患にもよりますが、避難所生活は障がい者が普段と異なる環境で、知り合いの医療者や保

健師もおらず、孤立するケースもあります。人工呼吸器を使っているお子さんは、医療者や、介護士、療法士、企業の方々など、様々な分野の人が関わっているので、普段から繋がりをつくるのが大切です。これは、難病児だけでなく、大人の障がい者や1人暮らしの高齢者でも同じですね。高島：日本財団は難病児支援の他にも、激甚災害の復旧をおこなう NPO の活動支援を長年続けてきました。現場で実感するのは、NPO に限らず、顔の見える関係ができていると支援し易いということです。

現在は難病児支援団体 35 団体が参加するネットワーク会議を年2回実施していますが、つながりができていると、いつか起きる災害時に、支援し易い環境ができるのではないのでしょうか。医療資材のウィッシュリストをついたり、地域ごとに支援できるつながりも必要ですね。ネットワークをつくりながら、信頼できる仲間をつくる。これが日本財団の役割でしょうか。島津：ネットワークという点では、同じ地域の障がい者でも、子どもと大人、疾患が異なればわからないこともあります。避難所生活でも触れましたが、我々も、普段から、医療者や福祉、教育関係者、NPO、企業、等との関係づくりをじっくりおこなうことが重要ですね。

高島：そういう場の中心として、これからのボンボンの活動が期待されますね。



糖尿病の患者さんへ配布している避難する際、必要なものを記載したステッカー。玄関などに貼るよう、啓発している

TOOTH FAIRY の活動 2

障がい者トップアスリートへの 歯科支援

2020年のオリンピック、パラリンピックを前に、大きな注目が集まるスポーツ選手たち。自身の限界を乗り越え、世界の大舞台で活躍する姿は、子どもたちの心を勇気付けるヒーローです。過酷なトレーニングに励む彼らアスリートへ、TOOTH FAIRY の新しい歯科支援がはじまりました。



歯科講話の様子



マウスガード作製の様子

奥歯を噛み締め、二本の腕に全身の力を集め、時に自身の体重以上のバーベルを抱えあげるパラ・パワーリフティングの世界は、一瞬に込められた緊迫感と強靭な選手の肉体が、観衆を魅了します。

日々コンディションを整え、戦い続ける選手にとって、歯の健康維持は欠かせません。しかしながら、オリンピック団体と比較して競技団体が比較的小規模なパラリンピック団体には、歯や口の怪我へのサポートが十分ではありませんでした。

TOOTH FAIRY は東京歯科大学と連携し、パラ・パワーリフティングの選手たちへ、無料の歯科相談や、マウスガードの作製を支援を開始。「バーベルを胸から突き放すところで、ぐっと、かみしめると良いような気がします」と選手たちの評判も上々でした。

3年後のパラリンピックで活躍する選手の姿が楽しみです。

<活動内容・実績>

- 競技中の歯や顎の怪我に関する無料電話相談の設置
- 歯科講話 (3 団体)
- マウスガードの作製 (3 団体 37 名)
- <プロジェクトパートナー>
- 東京歯科大学





ミャンマーの子ども達

TOOTH FAIRYの活動 3

「変化の時は来た」 ミャンマーの人々を変える 学校建設

70年にわたる軍事政権時代を終え、変化し続ける国ミャンマー。急激な経済成長を遂げる一方で、軍政時代の傷跡は、いまだ人々の生活に暗い影を落としています。

TOOTH FAIRYの学校建設の場でも例外ではありません。貧しい村にとって、子どもたちは大切な労働力。村人の理解や協力を得られず、建設を断念しなければならないこともあります。

「ミャンマーの人々は、今が試練の時です。“アジア最後のフロンティア”とメディアにもはやされる一方で、軍政時代から続くモラルの低さや拝金主義といった負の遺産に苦しんでいます」

現地で20年、学校建設に携わる平野喜幸氏は厳しい表情で語りました。月に何度も村を訪れ、学校建設のために助言し、村の団結を説くために、何度も集会を開きます。時に村人を叱咤し、子どもたちの未来のために激励する平野氏の熱意によって、人々の意識が変わり始めた村もあります。

農村地帯のチェインジョン村は、平野氏が訪れた村の中でもっとも貧しい村でした。はじめは教師もおらず、茅葺屋根と竹の校舎では、生徒は雨漏りや虫に悩まされ、授

業をおこなうことすら困難な状況でした。なんとか村人を説得し、校舎を建て、新しい教師も赴任し、再出発しました。

成績も上がり、いきいきと学ぶ子どもたちの姿が嬉しかったのでしょ。村の大人たちは、学校建設と同時にすすめていた稲作事業から得た資金と、自分たちの寄付を合わせて、新しい教師を迎えるための宿舎を建設しました。

「教育がこの村を変えてくれました。元の村には後戻りはしたくないです」

目頭を押さえて感謝の言葉を伝える村人の表情は、かつてとは違う輝きが溢れていました。最も貧しい村が自信と誇りを持った村へと変貌した瞬間でした。

「変化の時は来た」。2015年、アウン・サン・スー・チー氏が率いる国民民主連盟が国民の支持を得て総選挙で軍事政権に勝利した時、掲げたスローガンです。

TOOTH FAIRYの学校建設は、ミャンマーの人々の心を変え、国を変えるお手伝いをしています。

<活動内容・実績>

ミャンマー・エーヤワディー地域での学校建設（6校）

<プロジェクトパートナー>

認定NPO れんげ国際ボランティア会

2016年度に建設した学校



Htain Ka Lar Kone BEMS (branch)
ティンガラゴン中学校分校

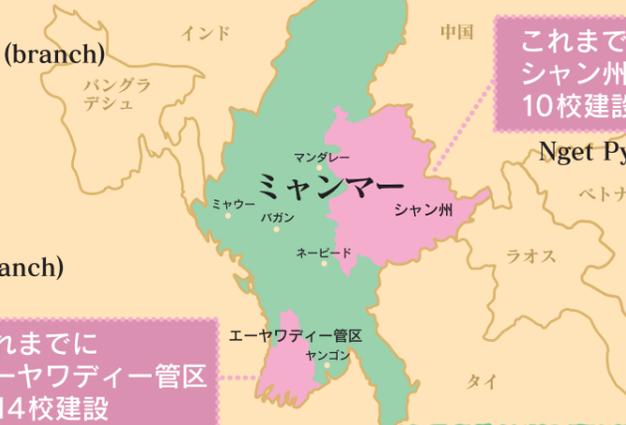


Nga Gyi Ga Yet BEMS (branch)
ガジガイェツ中学校分校



Pay Pin Sat Nit Ywar BEHS (branch)
ペーピンセンナユワ高校分校

TOOTH FAIRYの学校建設事業には、学生寮整備や農園経営などの地域開発事業も同時に実施。村の全体が自立的・持続的に学校を運営できる環境を整備しています。



これまでに
シャム州に
10校建設

これまでに
エーヤワディー管区
に14校建設



Mingayu BEMS
ミンガユ中学校



Nget Pyaw Chaung BEHS (branch)
ガビョーチャウン高校分校



Taw Phyar BEMS (branch)
トービャー中学校分校

歯科医師ボランティアコメント

- ・子どもたちとふれあいの時間をもつことで、お互い笑顔になれたことが印象的でした。
- ・子どもたちの元気な声と笑い。すんだ瞳。将来が楽しみな子ども達。これからのミャンマーにとって大切な教育に、ほんの少し関わることが出来た思いでした。
- ・自分の歯科医師としての使命について考える良い機会となりました。今回訪問した村は上下水道処理や電気も充分ではありませんが、日本の郊外に行くともメディカルIQの低い地域があると思います。まずは母国から見つめ直し、日本国内でも歯科医療を推進すべき地域の支援に取り組んでいきたいと思いました。
- ・何回来ても新しい出会いがある。毎回勉強させられます。
- ・健診の後、虫歯ないよー！とジェスチャーで伝えるととてもうれしそうな顔を、また、虫歯のある子どもは、ガクリとした顔をしながらも頑張って良く磨いてね！と伝えると笑顔でハイ！と言ってくれたようでした。言葉が通じなくても思いは通じたのかなと感じました。
- ・歯科ボランティアに行ったつもりが、ミャンマーの方からいただいた心のおみやげの方が大きなことに気づかされました。道路の両脇に並べ手を合わせている盛大な歓迎に鳥肌が立つほどの感動、子供たちのキラキラした純粋なまなざしと、人懐っこくて明るい性格に圧倒された初めての訪問でした。日本がたどってきた虫歯蔓延の道を、ミャンマーの子供たちが同じように歩まないように微力ながらお手伝いしていきたいと思っています。

開校式に日本歯科医師会 小玉常務理事が参加

2017年5月、ミンガユ村に建設した学校開校式に、日本歯科医師会より小玉常務理事が参加。ミャンマーと日本が歴史的にも、国民性においても深い関係があることに触れた上で、「歯科には『食べる』『話す』『笑う』など、日々の生活と生きる力を支えるという大きな役割があり、生活の質の向上に寄与している。そして生活の質をより豊かにするためには、学ぶことが最も大切である。我々歯科医師は皆さんがこの新しい学校で、楽しく学び、充実した生活を送れるようにお手伝いしたい」と祝辞を述べました。



第5回歯科医師ボランティア実施

TOOTH FAIRY 歯科医師13名が学校を訪問。今回訪問した村には歯科医師がおらず、普段歯科医院に行く機会のない子どもたちばかりです。子どもたちは初めての歯科健診に緊張しながらも、最後はみんな笑顔で日本からやってきた歯医者さんと交流しました。

	氏名	歯科医院名	氏名	歯科医院名
ボ ラ ン テ ィ ア 参 加 者	井出豊也先生	いで歯科医院(千葉県)	前田龍一先生	前田歯科医院(兵庫県)
	伊藤雅夫先生	イトウ矯正・小児歯科(兵庫県)	葉 清貴先生	ハートデンタルクリニック(宮崎県)
	江並正博先生	江並歯科医院(大阪府)	猪狩哲明先生	いかり歯科医院(東京都)
	大野真吾先生	大野歯科医院(大阪府)	三上博子先生	三上歯科クリニック(大阪府)
	大野倫子先生	大野歯科医院(大阪府)	久野麻弓先生	久野歯科クリニック(佐賀県)
	小山和彦先生	小山歯科医院(静岡県)	大槻有美先生	医療法人社団おつき会 大槻歯科医院(兵庫県)
	角町正勝先生	角町歯科医院(長崎県)		

(順不同)



都道府県名	参加歯科医院数	都道府県名	参加歯科医院数	都道府県名	参加歯科医院数	都道府県名	参加歯科医院数
北海道	219	東京都	578	滋賀県	90	香川県	68
青森県	58	神奈川県	391	京都府	154	愛媛県	56
岩手県	81	新潟県	139	大阪府	487	高知県	40
宮城県	102	富山県	32	兵庫県	309	福岡県	193
秋田県	39	石川県	58	奈良県	90	佐賀県	116
山形県	71	福井県	30	和歌山県	296	長崎県	159
福島県	78	山梨県	39	鳥取県	25	熊本県	100
茨城県	117	長野県	120	島根県	34	大分県	49
栃木県	119	岐阜県	127	岡山県	83	宮崎県	54
群馬県	91	静岡県	194	広島県	166	鹿児島県	98
埼玉県	211	愛知県	397	山口県	67	沖縄県	30
千葉県	197	三重県	78	徳島県	42		

全国合計
参加歯科医院数 **6372**

TOOTH FAIRY 応援歯科医師会、歯科大学同窓会ご紹介

- 歯科医師会**
- 山梨県歯科医師会（岐阜県）
 - 中京歯科医師会（京都府）
 - 東海市歯科医師会（愛知県）
 - 河内長野市歯科医師会（大阪府）
 - 和歌山市歯科医師会（和歌山県）
 - 伊都歯科医師会（和歌山県）
 - 小城・多久歯科医師会（佐賀県）
 - 唐津東松浦歯科医師会（佐賀県）
- 歯科大学同窓会**
- 福岡歯科大学 長崎県支部同窓会「歯ってん会」（長崎県）

※TOOTH FAIRY 応援歯科医師会、歯科大学同窓会とは？
歯科医師会全体で活動に賛同し、積極的に応援していくと表明していただいた団体、会での寄付やご支援をいただいております。

メディア掲載

2016年
山梨日日新聞（4月22日号難病児キャンプ施設「あおぞら共和国」 ロッジ建設）
朝日新聞（山梨県版）（4月22日号難病児キャンプ施設「あおぞら共和国」 ロッジ建設）
読売新聞（奈良県版）（4月24日号難病児施設「奈良親子レスパイトハウス」改修完了）
産経新聞（奈良県版）（4月24日号難病児施設「奈良親子レスパイトハウス」改修完了）
日本糖尿病協会専門誌「さかえ」5月号（小児（1型）糖尿病サマーキャンプ 澤田章司先生インタビュー有）
南日本新聞（9月6日号霧島市で1型糖尿病児キャンプ）
2017年
日本海新聞（1月30日号ソーシャル・イノベーション 日本財団の挑戦 寄付月間）
日本歯科新聞（1月31日号パラサリットにマウスガード 日本財団らが支援事業）
産経新聞（2月11日号歯の妖精と配電盤づくり ミャンマーボランティアツアー）
日本歯科新聞（2月7日号日本財団 TOOTH FAIRY2015年の活動報告書）
BLOGOS（3月2日号 “噛み合わせでパフォーマンス向上と怪我防止に” 歯科医療からパラサリットを支える取り組み）
DENTAL DIAMOND（3月1日号パラカヌー選手へのマウスガード作製と歯科講話が開催される／編集部より：義歯の個人寄付）

TOOTH FAIRY 協賛協力企業・団体ご紹介

- 株式会社 ウィルアンドデンターフェイス
- 株式会社 サンスター
- POIC®（専門的口腔感染症予防）研究会
- ライオン株式会社
- 相田化学工業株式会社
- アサヒブリテック株式会社
- 松田産業株式会社
- （※敬称略）



株式会社サンスター様、ライオン株式会社様から、歯ブラシのご寄付をいただきました。



● 寄付金属リサイクル換金結果

	寄付金額 ※1	寄付件数合計	総重量 ※2	受付期間
第21回換金	43,635,239円	543件 参加歯科医院…512件 個人…31件	189.289kg	2016年2月13日 ～2016年7月22日
第22回換金	36,532,531円	476件 参加歯科医院…460件 個人…16件	163.541kg	2016年7月23日 ～2016年11月25日
第23回換金	61,651,058円	739件 参加歯科医院…723件 個人…16件	249.220kg	2016年11月26日 ～2017年2月3日

※1…寄付金額＝売却金額－分析手数料－預り消費税 ※2…回収袋を開封後、指定容器の重量を除いた重量。ただし日本財団指定の容器以外重量及び有価金属以外の金属、その他の材料等の重量含む

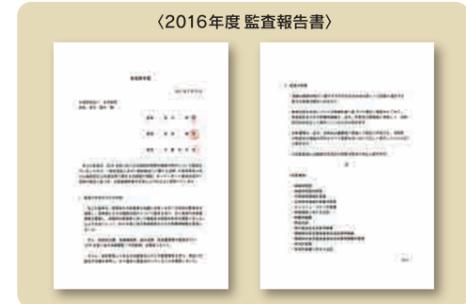
● 収支報告（自2016年4月1日 至2017年3月31日）

(単位：円)

収入の部	金額
歯科撤去金属売却収入※1	147,443,406
現金寄付金収入	3,447,480
当期収入合計	150,890,886
前期返還金※2	1,404,136
前期繰越額	224,065,698
収入の部合計	376,360,720

(単位：円)

支出の部	金額
事業支出合計（内訳は右記参照）	107,939,228
換金手数料 ※3	5,624,578
当期支出合計	113,563,806
次期繰越金額	262,796,914



スタッフからのご挨拶

チームリーダー
はせがわ りゆうじ
長谷川 隆治

こむら ゆうこ
小村 悠子

ひくち さやか
樋口 さやか

本年も TOOTH FAIRY を支えていただき、ありがとうございました。「変化」や「成長」に注目しながら作成した今回の活動報告書ですが、振り返ると、TOOTH FAIRY の活動も、随分と幅が広がってまいりました。活動年数を重ねるごとに、病院で、キャンプ場で、何度もお会いするお子さんやご家族も増えてきました。再会するたびに、背が伸びたり、身体が大きくなったりと、成長する子どもたちの姿は、何よりの喜びです。一方で、突然の別れを迎えるお子さんもいらっしゃいます。闘病する子どもたちや家族にとって、毎日が真剣勝負です。そんな中で TOOTH FAIRY で過ごした体験は、子どもたちにとって特別な思い出となっています。「また来年もキャンプに参加したい」「心から笑うわが子の姿を久しぶりに見ることができた」「育児と子どもの闘病生活の両立は大変ですが、だからこそ、応援してくれる方々の気持ちが嬉しい」。そんな声が、たくさん寄せられています。全国 6,400 の歯科医院の皆様、患者様、TOOTH FAIRY に関わってくださったすべての方へ、改めて心よりの感謝を申し上げます。

事業内訳 (単位：円)

事業内訳	金額
国内・難病児支援 [合計]	62,904,380
1 病院、施設、自宅での子どもの成長を支える取り組み	10,000,000
2 旅行やキャンプ等を通じた子どもと家族を支える取り組み	11,335,000
3 難病の子どもと家族の支援の輪を広げる取り組み	7,176,000
4 難病の子どもと家族のための施設等を整備する取り組み	588,600
ミャンマー学校建設	43,455,530
障害者トップアスリートへの歯科支援	1,579,318

※1 金属換金額から預かり消費税相当額を除いた金額を計上。
※2 2015年度事業「その他施設に関する取り組み（そらぶちキッズキャンプ）」にて、人件費、旅費等の削減により、余剰が発生したため、前期返還金として2016年度収入に計上しました。
※3 金属の分析精製手数料（税込）
※4 当施設は、2014年度に TOOTH FAIRY 支援事業として建設しましたが、熊本地震により被災したため、2016年度に修繕事業を実施。利用者が受益者負担を得辛い重症度の高い患者やその家族であるため、総事業費を全額支援しております。
※5 本事業は、410,500米ドルで算出。為替レート、1米ドル＝105.86円を換算（1枚あたり約725円）

皆様のご参加、お申込みお待ちしております

TOOTH FAIRY ウェブサイト内に、貴歯科医院の情報を掲載しませんか？

メッセージや写真で、子どもたちを応援してください！
※お写真はホームページ上から追加できます。

診療科目 歯科 矯正歯科 歯科口腔外科 小児歯科
※診療科目にチェックをつけてください。

診療時間
※記入例：平日 10～13時、14～18時 日祝休

子どもたちと家族へ 応援メッセージ

歯科医院名・住所などをHPや新聞などで紹介し、顕彰いたします。

ホームページ等での公開を希望しない
※公開を望まない場合は、□にチェックを付けてください。

その他ご意見などございましたらご記入願います。